

令和3年度

三沢市教育委員会

会 議 録

2 月 定 例 会

三沢市教育委員会 令和3年度 2月定例会

1 日 時 令和4年2月22日(火) 14時00分 開会
15時31分 閉会

2 場 所 三沢市役所 別館4階 第1研修室

3 出席委員

教 育 長	山 内 康 之
委 員	立 花 肇
委 員	本 江 宏
委 員	黒 沢 のぞみ
委 員	松 森 まゆみ

4 出席職員

教育部長	立 崎 裕 輔
参事兼教育総務課 課長	岡 部 章 典
教育総務課 課長補佐兼施設係長	池 田 修
学務課 課長	村 上 輝 仁
学務課 課長補佐兼学務係長	浪 岡 さゆり
学校教育課 課長	太 田 浩 之
学校教育課 課長補佐	江 渡 勇
生涯学習課 課長	山 本 京 子
生涯学習課 課長補佐兼生涯学習係長	柿 崎 竜 平
学校給食センター 所長	海老名 達 郎
学校給食センター 所長補佐兼施設係長	宮 古 順 一
教育総務課 副参事兼課長補佐(書記)	今 村 多美代
教育総務課 教育総務係長	鳴 海 拓

5 傍聴者 2名

6 議事日程 別紙のとおり

【別紙】

三沢市教育委員会 令和3年度2月定例会 議事日程

開会

第1 会議録署名委員の指名

第2 会期の決定

第3 前回会議録の承認

第4 議事案件

議案第26号 令和4年度教職員人事について

第5 報告案件

報告第15号 三沢市教育振興基本計画 令和3年度進捗状況について

第6 その他

閉会

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、承認といたします。

○開会

■山内教育長

ただ今から、令和3年度2月定例教育委員会を開会いたします。

それでは、お手元に配付してある議事日程により、会議を進めてまいります。

○日程第1 会議録署名委員の指名

■山内教育長

会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、立花委員と黒沢委員を指名いたします。

よろしく願いいたします。

○日程第2 会期の決定

■山内教育長

会期についてお諮りいたします。

会期は、本日22日の1日でよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、本日の1日といたします。

○日程第3 前回会議録の承認

■山内教育長

前回、会議録の承認について、お諮りいたします。

前回の会議録は、お手元に配付しておりますが、会議録のとおり承認としてよろしいでしょうか。

○日程第4 議事案件

■山内教育長

続いて、議事案件に移ります。

議案第26号 令和4年度教職員人事についての議案は、人事案件でありますので、先例により非公開として、別室審議といたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、議案第26号は、非公開として別室審議といたします。

○日程第5 報告案件

■山内教育長

続いて、報告案件に移ります。

報告第15号 三沢市教育振興基本計画令和3年度進捗状況についてを議題といたします。

事務局より、説明をお願いします。

■教育部長

報告第15号 三沢市教育振興基本計画令和3年度進捗状況についてご報告いたします。三沢市教育振興基本計画は、「人との関わりを基盤にM I S A W Aの今と未来をつくる人づくり」のスローガンのもと、令和2年度から令和6年度までの5か年計画で各施策を推進しております。

今年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業の中止や縮小等もございましたが、適切な感染拡大防止対策措置を講じながらも、児童生徒を伸ばすための教育活動や市民に関わる事業を可能な限り実

施できるよう、学校や関係機関と連携して取り組んでまいりました。この後、施策目標ごとに、今年度の主な事業の進捗状況について各担当課がご説明いたします。

なお、市民スポーツ課所管分につきましては、資料をご覧ください、質問がございましたら、確認のうえ後日回答させていただきますので、ご了承願います。

私からは、以上でございます。

■学校教育課長

報告第15号 三沢市教育振興基本計画令和3年度進捗状況について、お手元の資料の1ページをご覧ください。

政策目標1「知・徳・体の調和のとれた生きる力の育成」重点施策(1)確かな学力・豊かな人間性・健康な体の育成については、①学力知能検査事業、②総合的学習推進事業、③校外体験事業、読書充実事業等を実施してまいりました。その中で、児童生徒一人一人の学力及び知性特性に合わせた指導、国際理解教育、ゆめチャレ教室、校外体験学習、また学校司書と図書管理システムを活用した読書記録の作成等を行い、調和のとれた児童生徒の育成と学力向上が図られました。学力向上の結果の一つとして、対象を小学校5年生、中学校2年生とした県学習状況調査で、県平均を100としたときの三沢市の状況をグラフに示しましたのでご覧ください。令和2年度は中止となりましたが、平成25年度から徐々に伸びて、令和3年度は103.6となっており、ここ4回は県通過率を超えた状態をキープできています。

2ページをお開きください。重点施策(2)教職員の資質向上については、学校訪問や教員を対象とした各種研修会を実施しました。①の学校訪問事業の指導主事派遣回数ですが、私たちがお願いして学校を訪問する計画訪問のほかに、学校が主体的に指導主事派遣を要望して実施する要請訪問が例年よりも倍増しました。

学習指導要領の全面実施を受け、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を図り、教員の授業力と実践力向上の一助になったと捉えています。その他、沢山の研修について、掲載しましたので、後程ご覧ください。

5ページをお開きください。重点施策(3)特別支援教育の充実については、①教育支援委員会事業、②中学校における訪問型通級指導、③幼稚園等訪問事業を行いました。6ページいちばん下の③幼稚園等訪問事業をご覧ください。この事業は平成30年度から開始しましたが、令和2年度から子育て支援課及び健康推進課と連携して訪問するようになり、年度ごと20回の訪問をキープできています。訪問では、特別な配慮を必要としている幼児の把握及び、関係職員に対する配慮・支援に関する情報提供・助言を行いました。また、教育支援を申し込んだ幼稚園等に対し、小学校入学までに、配慮・支援、留意することなどを情報提供しました。

7ページをご覧ください。政策目標2「グローバルなコミュニケーション能力を育む英語教育の充実」重点施策(4)英語によるコミュニケーション能力の育成については、外国語指導助手、続いて8ページになりますが、英語指導助手派遣事業、またイングリッシュキャンプやイングリッシュデイを実施してまいりました。

また次の重点施策(5)異なった文化や習慣をもつ人々との交流事業については、外国人講師派遣事業、日米交流学習事業、日米総合子供会活動の推進等、新型コロナウイルス感染症の影響で条件が整わない中、規模縮小や開催場所変更等、様々な工夫と対策をして実施し、その内容については、これまで、その都度説明してまいりました。英語教育や異文化交流に関する様々な取組の結果として、例年「英検3級以上取得率」をグラフにして示しているのですが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年

度は国・県の調査は中止、3年度も結果は未公表となっております。三沢市の結果については現在、各学校に集計結果の照会をしているところですので、結果がわかり次第お知らせいたします。

続いて、10ページをお開きください。政策目標3「いじめ・不登校等のない学校を目指した体制づくり」重点施策(6)いじめ・不登校等へ対応する教育相談体制の充実については、①心の教室相談員設置事業、②教育相談室設置事業、③適応指導教室設置事業、④スクールソーシャルワーカー派遣事業を実施してまいりました。特に①の心の教室相談員設置事業では、児童生徒の悩み相談に対応することを主として中学校4校、小学校2校に、計6名を配置しています。様々な不安や問題の解消を求める児童生徒への相談・助言を行い、不登校やひきこもり等の解消や未然防止のために取り組んでいます。令和3年度は12月末現在で1,850件の相談があり、児童生徒の悩みにきめ細かに対応できております。

重点施策(7)人との関わりを身に付ける取組の推進については、いじめ・不登校未然防止活動として子どもいじめなくし隊活動及び情報モラル指導を行っています。いじめなくし隊活動発表会については、本来であれば各校から3名程度が集まっての発表でしたが、今年度は4校の発表内容を録画し、マックテレビで3月5日13時に放映する予定となっております。以上でございます。

■生涯学習課長

それでは、13ページをお開きください。政策目標4「いつでも、どこでも、誰でも学べる機会の充実」重点施策(8)生涯学習の機会の充実についてご説明いたします。①生涯学習のまちづくり推進事業の⑦指導者派遣事業は、地域内での教えあい、学びあいを促進するための指導者登録を推進し、趣味・趣向にも対応した

テーマの講師・指導者等の派遣・開催に努めました。今年度は、指導登録数は56、開催回数は6回、参加者数は75人でした。④ブックスタート事業は、読書活動推進のスタートとして、4か月健診時に、絵本の無料配布をしております。令和2年度より、図書館職員とボランティアによる絵本の読み聞かせは、新型コロナウイルス感染防止のため中止とし、配布のみ行い今年度の配付冊数は、223冊となっております。②社会教育活動推進補助は、社会教育関係団体等に補助金を交付して社会教育活動の推進を図っております。補助団体は連合婦人会、子ども会育成協議会、連合PTA、少年少女発明クラブとなっております。

15ページをお開きください。重点施策(9)社会教育施設の活用については、①図書館運営事業、②公民館等運営事業、③団体活動センター管理事業、④大空ひろば管理事業の指定管理事業となります。

18ページをお開きください。政策目標5「学校・家庭・地域の連携と協働の充実」重点施策(10)学校・家庭・地域コミュニティの連携・強化の①地域学校協働本部事業は、地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働しながら地域全体で子どもの成長を支えることを目的に行っております。各校に地域コーディネーターを配置し、質を高めるための研修や理解促進活動に努めました。令和3年度は、延べ日数2,794日、延べ参加者数7,511人となっております。②家庭教育学級運営事業は、親同士が子供の成長や将来について考え、子育ての悩みや親としての関わりなどを話し合い、一緒に学んでいく場を提供しております。令和3年度開催校は、古間木小学校2日、三沢小学校1日、三川目小学校1日、堀口中学校1日で参加者数は、170人でした。③おたすけ塾・わくわくサマーゼミナール事業は、⑦おたすけ塾が見直しになっておりますが、小中学生の家庭教育支援として、長期休み課題を支援し、

学習意欲の向上に努めましたが、その一方で、実質的に対象区域が限られ、コロナ禍にあることから事業効率の向上を図る必要があると考え、今後は地域学校協働活動と併せて見直しを図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

■学校教育課長

①のわくわくサマーゼミナールについては、三沢市立図書館と県立三沢航空科学館と連携し、市内小学生を対象に調べ学習や自由研究の進め方を学ぶ機会を提供し、自ら問いを立て、主体的に問題解決に取り組み、新たな価値を見出すことができる子供の育成を目的として実施し、今年度は33人の参加となり増加しました。

以上でございます。

■生涯学習課長

19ページをお開きください。④ゴミ出し・回覧板推進活動は、コロナ禍にあり、子どもの地域における役割もデリケートな対応が迫られております。本項目にあるゴミ出し、回覧板推進等の活動は、学校・家庭・地域のつながりの強化への取り組みであります。少なからず人との接触が考慮されるため、新型コロナ収束まで本活動の実施は困難であると考えております。このため、事業実施は新型コロナ収束までの期間は実施せず、他の手法を地域学校協働本部、学校運営協議会等と模索してまいりたいと考えており、見直しとさせていただきます。

20ページをお開きください。政策目標6「生き抜く力を育む、キャリア教育支援の充実」重点施策(11)キャリア教育支援体制の整備・充実の①社会教育を核とする地域ネットワークの構築及び②教育支援プラットフォーム事業は、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるキャリア教育を行うため、学校と地域産業のネットワークを構築するため、企業訪問等

を行ってまいりましたが、これまでの活動で、キャリア教育のネットワークが構築され、産業・経済界の企業主体で多く実施されてきていることから、今後は企業と学校の協働を支援することを目的とし、見直ししてまいりたいと思っております。

以上でございます。

■学校教育課長

続いて③ゆめ実現推進事業の欄をご覧ください。三沢市公会堂において全小学校6年生を対象に市内外の職業従事者からの講話を実施しました。参加児童の感想には、仕事への興味・関心の高まり、仕事を続けていく上での厳しさ、ゆめ実現へ向けて努力すべきことなどがあり、児童の勤労観・職業観を醸成する一助となりました。令和2年度から実施方法をパネルディスカッション形式に変更するとともに、事業アンケートも見直し、児童の満足度としました。その結果は21ページの表の右下のとおりで、今年度は100パーセントとなりました。

以上でございます。

■生涯学習課長

22ページをお開きください。政策目標7「ふるさとの文化継承と地域発信ができる文化活動」重点施策(12)文化財の保護・保存と公開・活用の①文化財保存活用事業は、⑦考古資料及び小川原湖民俗博物館旧蔵資料の環境整備事業と、この資料を用いて実施する①文化財講座事業については、令和元年度から3年度までは未実施となっております。②遺跡発掘調査事業は、各種の開発行為等に伴い発掘調査を実施しました。令和3年度は、早稲田(1)貝塚・野口貝塚の出土品等整理が9年目を迎え、平畑(3)遺跡の記録保存調査が5年目を迎えております。③歴史民俗資料館運営事業は、昨年度開催し好評だった「モノが語る戦争」展を期間延長し、集客に努めましたが、令和3年度

は、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染防止のための休館期間が影響し、入館者数が減る見込みです。

重点施策（13）伝統芸能・技術の継承の①民俗芸能保存会連絡協議会補助は、保存会10団体が加入しており、後継者の育成、無形民俗文化財の保存のための活動に努めました。令和3年度補助金は60万円でした。②発表機会の充実は、本市民をはじめ多くの方に地域を代表する民俗芸能に触れる機会を提供したいと思っておりましたが、今回もコロナ感染症のために発表会や公演会は、ことごとく中止となっております。④伝承貢献者表彰は、幼少期から大人に交じって民俗芸能の保存・伝承に長年貢献してきた高校生以下を対象に、その活動に対し感謝状の授与を行っておりますが、残念ながら今年度対象者はございませんでした。

重点施策（14）市民による文化活動の振興のための①文化協会補助については、令和3年度補助金額は143万円交付しております。②文化活動派遣費補助は、市内児童生徒が、県大会及び東北大会等の大会等に出場する際の、派遣に係る経費に対する補助で、交通費・宿泊料・参加料については5割、楽器等の運搬費は8割の補助としています。今年度は、2件、21万2千円を補助しました。③文化賞等及び年少少女文化優秀賞等表彰の⑦文化賞等表彰は、今年度は、文化功労賞は3人、④年少少女文化優秀賞等表彰は、文化優秀賞は34人、文化奨励賞は48人、合計で82人の表彰を行っております。

以上でございます。

■学校教育課長

26ページをご覧ください。政策目標8「豊かなスポーツライフを実現する環境づくり」重点施策（15）スポーツ活動の推進と環境の整備については、学校教育課に関するところで、いちばん下の③運動部活動指導員配置事

業について説明します。令和元年度より、教職員が生徒と向き合う時間や教材研究等の時間を確保することを目的として、今年度は希望した市内中学校4校に計6名の部活動指導員を配置しました。部活動指導員を配置されている顧問にアンケートを採ったところ、「部活動の指導に携わる時間が減少したか」「部活動指導に関する心的負担が軽減されたか」の問いに対し、全顧問が肯定的な回答をしています。

続いて重点施策（16）各種スポーツ大会参加への支援についても、学校教育課に関するところで、27ページのいちばん下の③三沢市中学校体育連盟連絡協議会選手出場補助について説明します。例年、生徒輸送のためのバス借り上げ料補助金として中体連夏季大会に150万円、新人大会に110万円の補助金を交付していましたが、今年度は新人大会が中止となったため、夏季大会のみ150万円の補助となりました。夏季大会参加は、生徒たちの部活動に対する意欲付けの一つとなっております。

続いて28ページをご覧ください。

政策目標9「健康で依存に負けない習慣づくり」重点施策（17）習慣は第二の天性推進事業については、①「眠育・食育のススメ」推進事業、②生き生き健康講話事業、③健康教育研究発表会事業、④性教育・薬物乱用防止教育推進事業を実施してまいりました。特に①の「眠育・食育のススメ」推進事業に関して、昨年度から市内の全小中学校で「眠育」に取り組んでいます。28ページの上の表のとおり、「三沢市版すいみんログ」を通して、市内児童生徒の1日の睡眠時間とメディア利用時間を明らかにでき、学校保健委員会等を活用した生活習慣指導の一助となりました。

以上でございます。

■学務課長

続いて、30ページをお開きください。重点施策（18）児童生徒の健康の保持・増進の①

児童生徒の健康診断の実施は、市内小中学校において、児童生徒に対し、毎年4月から6月の時期に年1回、健康診断を実施し、健康の保持増進を図っております。これは学校保健安全法に基づいたもので、以下の健診内容となっており、継続としております。②フッ素洗口事業は、三沢市独自の取り組みとして、「お口の健康から、からだの健康へ」を目指して、児童生徒のむし歯予防対策の一環として、平成12年度から市内の小中学校の希望者を対象に行っております。殆どが希望しており、実施については、100パーセントに近い数字であり、一定の効果があつたと考えております。

以上でございます。

■学校給食センター所長

31ページをご覧ください。③食育の推進でございます。生涯を通して、健康で豊かな生活を送るために出前事業、学校訪問、バイキング給食、がんばるメニューを行っております。㉞の出前授業は、今年度小学校は69回、中学校は19回実施しました。㉟の学校訪問は、小学校7回、中学校5回実施しました。㊱のバイキング給食は、新型コロナウイルス感染症の影響から、令和2年度から実施しておりません。㊲のがんばるメニューは、12月末現在で2回実施しております。㉜アレルギー対策の推進は、新1年生を対象にした食物アレルギー保有者の調査を各小学校保護者宛に実施しました。代替食の提供は、個別包装にある、乳・卵が含まれるデザートのみ実施いたしました。その他アレルギー付き献立表により情報を提供し、未然事故防止に努めました。

以上でございます。

■教育総務課長

32ページをお開きください。政策目標10「安全・安心で、質の高い教育環境の充実」重点施策(19)安全・安心で快適な教育環境の

確保の①施設長寿命化対策等の推進についてご説明いたします。例年、暖房機械清掃点検を年1回、消防設備保守点検を年2回、昇降機保守点検を年4回行っており、そこで指摘された設備等の修繕を今後も引き続き行うとともに、学校施設の計画的な改修、予防保全を行うための調査を実施し、長寿命化対策の推進を図りたいと考えております。令和3年度の長寿命化改良事業の計画については、小学校3校、中学校2校の躯体調査を実施しています。学校施設の点検改善数については、上の表のとおりとなっております。また、参考までに12月末現在までの学校施設における修繕事業及び改修事業の件数並びに金額を記載しておりますので、後程ご覧ください。

以上でございます。

■学務課長

重点施策(20)教育費負担軽減などによる学習機会の確保の①要保護・準要保護学用品費等援助費は、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、就学援助費を支給しております。学務課では、準要保護の児童生徒を対象に行っております。また、今年度は学校給食費援助費の審査基準を改め、更なる就学援助の拡大を図りました。②特別支援教育就学奨励費は、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、希望する保護者に対して就学奨励費を交付しております。

以上でございます。

■教育総務課長

続いて、③奨学資金制度の活用についてご説明いたします。資料は34ページとなります。奨学金の貸付については、高校等が月額1万円、大学等が月額3万円を、経済的理由により修学が困難と認められるものに対し行っており、令和3年度については25名の学生が利用して

おります。また、前年度も行っておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う支援対策として、3万円の増額を、希望する奨学生に対し貸付を行っており、実績としては希望者5名、金額にして180万円の増額を予定しております。

次に、重点施策の(21)確かな学力の育成のための教材整備についてご説明いたします。

①ICT環境整備の推進についてですが、国の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画、いわゆる「GIGAスクール構想」で掲げられた整備目標を達成するため、令和2年度に前倒しされた国の補助金を活用し、校内無線LAN、学習タブレット、大型提示装置の整備が完了しております。今後は、児童、生徒の情報活用能力の向上を図るため、ICT支援員の増員や校務支援システムの整備に向け、事業を継続していく必要があると考えます。

②の学校教材の充実ですが、小中学校図書の充足率については、年々増加傾向で、令和3年度については12月末現在で110.8%となっております。ただし、まだ100%に満たない学校もあることから、今後も児童生徒の情報の収集・選択・活用能力の育成を図るため、計画的・継続的に整備をしていく必要があると考えております。

教材備品としては、令和3年度は、毎年購入している理科備品を購入いたしました。学校側の希望するものはすべて購入できている状況です。

以上でございます。

■学務課長

重点施策(22)教育力向上のための人的支援の①学校教育支援員設置事業は、学校教育支援員を児童生徒への支援、教師への支援、学校全体への支援を目的とし、市内小中学校へ、60人配置しております。県内でも児童生徒数の割合においては、非常に高い人数の配置となっております。

②学校司書派遣事業は、市内小中

学校の学校図書館運営の改善及び向上を図るために、学校司書を派遣、3人配置し、一人当たり4校巡回し、学校図書館の発展のために寄与しております。

以上でございます。

■山内教育長

駆け足で、説明していただきましたが、ただ今の報告に対し、委員の皆様から、ご質問等がございますか。

■黒沢委員

29ページの④の性教育・薬物乱用防止教育推進事業ですが、性教育年間指導計画の見直しと修正についての協議を行ったとありますが、その中に性暴力についての内容があるのか知りたいのですが、教職員等による性暴力の禁止の法律等については、制定されていますが、子供たちの場合、特に性暴力についてどのようなものか、理解しないままでは、成長の段階で心と体が病んでしまうのではないかと。性教育と同時に性暴力についてもお伝えする必要があるのではないかと少し思っているところもあります。その様なことに関して、令和3年度の見直し若しくは計画の中でどのようにお考えになっておられるのかお聞きしたいと思います。

■学校教育課長

性教育については、全5回の養護教諭部会、全2回の保健主事部会で、小中9年間の年間指導計画の見直しを図っております。三沢市でも以前に作ったことがあります。時代に合わせて指導を見直すことをしてまいりました。性暴力に関しては、9年間の中で扱うべき内容か、発達の度合いによって大分変わってきますので、暴力については、まだ取り入れていない状況です。その前にまずは、性的な知識や仕組みの事を取り上げ、小学校1年生から、徐々にやっております。ただ、今後デートDVの事など、様々

なことができてきますので、中学校3年生に向けて、検討していかなければならないのかなと思っております。養護教諭さんたちと相談しながら必要であれば、見直しをかけて、加えていきたいと考えております。

以上でございます。

■本江委員

3ページと4ページになります。研修主任研修会についてですが、昔は、ミドルリーダーという言い方があったと思います。その研修については、各学校から一人ずつ研修会に参加し、それを各学校に持ち帰り、学校の中で、主任の先生方が、それぞれのリーダーとして、どの様に手助けをし、どういう役割になっているのか。例えば教務主任研修であれば、どの様に研修に反映されているのか、伺いたいと思います。

■学校教育課長

ミドルリーダーとなりますと、三沢市の計画では3ページ④の研修主任研修会及び4ページの⑤教務主任研修会が、ミドルリーダーとしての研修会の位置付けと考えております。各学校で、校内研修を行っていて、そのリーダーが研修主任となります。市の研修会開催後に校内研修及び校内研究の活性化を図っていくためのリーダーとなっており、主体的、対話的、深い学びの授業を行うための授業改善の推進役となります。各学校でテーマを持ち、どの様にして授業を改善していくのか、リーダーとして動いておりまして、私どもも学校訪問でみておりますと、主任さん方が活躍して全体を引っ張っていると感じております。そのようなことが、学習状況の県平均100パーセント越えに繋がっているのかなと思います。

また、⑤の教務主任研修会は、夏休みに計画していますが、学校の計画を立てるのが教務主任でありまして、教育課程の届出書というものがありますが、次年度にどのように学校運営を

行っていけば良いか、各教科、総合、特活、道徳等の主な計画を作るのがミドルリーダーとなります。各学校の先生方の意見を集約し、どの様に子供たちを延ばしていけば良いのか、計画を作成し、学校教育課へ提出することになっておりました。

以上でございます。

■松森委員

1ページ④の市教育振興会補助金及び各種連携事業については、コロナ感染防止のため、単に中止とするのではなく、工夫を凝らした事業を実施していただいて有難いと思っております。特に小学校陸上競技大会については、各学校での開催となりましたが、タイムや記録に応じた市レベルとしての順位一覧を貰いましたが、大変参考になり、細かい部分まで配慮をしていただきました。

14ページ②社会教育活動推進補助金のジュニアリーダーの育成とありますが、このジュニアリーダーというのは、対象が中学生なのか、それとも高校生なのか、また役割としてはどのようなものがあるのか、質問したいと思います。

■生涯学習課

ジュニアリーダーは、小中学生を対象としております。この事業に参加したお子さんが、次に入ってきたお子さんをジュニアリーダーに導くというような、子供たちの輪の中で、リーダーを育成していく事業であると聞いております。

以上でございます。

■立花委員

全体的に色々な事業に取り組んでいますが、新型コロナウイルスの影響で中止になったり、縮小したりご苦勞されていると思います。しかしおそらく、近い将来には、徐々に収束していくと考え、根気よく事業計画をきちんと立ててい

っていただきたいと思います。

16 ページ③団体活動センター管理事業については、廃校になった校舎なので、それぞれの施設や設備が、老朽化してきていますが、安全上問題がないのか、確認したいです。

■生涯学習課長

安全上どうなのかという、ご質問ですが、根井団体活動センター及び谷地頭団体活動センターは、もう既に市の公共施設管理計画において、老朽化のため、廃止が決まっており、施設を壊す予定です。今現在は、倉庫等に使用し、普段人の出入りはしておりません。ほかの団体活動センターにつきましては、使用される部分に関しては安全を確認し、修復しながら使用していきます。

以上でございます。

■立花委員

壊す予定とのことですが、それまでの間の巡回は教育委員会が行うのですか。

■生涯学習課長

あくまで、所管は生涯学習課ですので、春夏秋冬と生涯学習課で管理・監督しております。

以上でございます。

■黒沢委員

18、19 ページについては、学校・家庭・地域の連携事業がそれぞれ見直しとなっておりますが、地域の形は、時代とともに変わりますので、そのように時代の状況や地域の状況に合わせて見直しが行われるのは大変良いことだと思います。地域の持てる力は、人口減少が進んでしまうと弱くなったり、偏ってしまったりしますので、それぞれの地域や学校に業務を移管するとなったとしても、そのような偏りがないように相談を受けられる体制やサポートをしてくださるとか、例えば講師の派遣につい

ても相談を受けるなど、移管した後もサポートして貰えるような体制で取り組んでいただきたいと思います。

今後も、状況に応じて見直しを図りながら、活動が充実されたものであることを願っております。今後もよろしく申し上げます。

■山内教育長

その他、ご質問等ございませんか。

(「なし。」と声あり)

ないようですので、報告第15号 三沢市教育振興基本計画令和3年度進捗状況についての報告は、終わりいたします。

○日程第6 その他

■山内教育長

続いて、その他に移ります。

委員の皆様にお知らせする事項をお手元に配付しておりますので、説明をお願いします。

■教育総務課長

それでは、教育総務課からその他の報告事項についてご説明いたします。

最初に、資料の訂正がございます。令和3年となっておりますが、令和4年の誤りですので、申し訳ございませんが、訂正をお願いします。

それでは、令和4年三沢市議会第1回定例会の日程についてです。招集告示は2月24日木曜日、議会開会が3月7日月曜日、一般質問が3月10日木曜日と11日金曜日、特別委員会が3月15日火曜日、16日水曜日、今回は通常の予算・条例等審査のほか、令和4年度の予算審査がございます。そして閉会が3月18日金曜日、以上の日程で行われる予定であります。

2点目は、感染症対策用品の寄附についてですが、三沢市防災協会より市内小中学校における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止

を図ることを目的に、CO2モニター「ピピッと換気君」15台を、2月9日水曜日に寄贈していただきました。これは、十分な換気がなされていない場合にアラームが鳴るもので、各学校へ配布済みであります。別添資料にパンフレットを添付しておりますので、後でご覧ください。

2ページ目をご覧ください。3点目の小中学校用PCR検査用キット購入事業についてご説明いたします。目的ですが、新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るっている中、本市において、特に、ここ1～2週間で学校においての感染拡大が顕著となっており、児童生徒の安全・安心の確保や、保護者の不安解消等、早急な対応が求められていることから、感染の早期発見や拡大防止、そして不安解消を目的に、PCR検査キットを配布できる体制を確立するため購入するものであります。対象者は、小中学校の児童生徒及び教職員等3,432人全員をカバーできる個数の3,500人分を購入対象としております。予算額は708万7千500円で、県の補助金700万円を充当し購入する予定で、すでに専決処分にて予算を確保し、発注手続きに入っております。現在市教委で考えている使用方法等ですが、各学校で対象者分を保管し、感染拡大の恐れがある事例において、保健所からの濃厚接触者指定や念のため検査指定者以外の児童生徒等で不安解消などにより検査を希望する場合、学校の判断により検査キットを配布いたします。受け渡し場所については学校とし、保護者等に取りに来ていただく形をとりたいと考えております。回数制限は特に設けず、必要に応じ1人何回でも使用可いたします。

教育総務課からは以上でございます。

■学校教育課長

学校教育課からは、令和4年度青森県立高等学校入学者選抜の日程変更です。最後のページの資料をご覧ください。新型コロナウイルス感

染症の感染状況を踏まえ、受験生の受験機会を確保する観点から、下記のように変更になっております。下線部が変更点ですが、入学者選抜追検査の実施が3月14日から16日に変更になりました。意味を考えてみますと、オミクロン株は、7日間程待機しなければなりませんのでそれを考慮しての変更ではないかと思っております。合格者発表が3月16日から18日に変更となりますが、例年中学校の卒業式の次の日が合格発表でしたが、学校と相談し、卒業式の日程は変更せず、15日に行うことになっております。再募集入学願書等提出が3月18から22日に変更、再募集学力検査等が3月22日から23日、再募集合格者発表が3月23日から24日にそれぞれ変更になりますので、お知らせいたします。

以上でございます。

■生涯学習課長

口頭で、失礼いたします。生涯学習課所管の公会堂、図書館、歴史民俗資料館、大空ひろばが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、1月24日から当初2月28日まで休館となっておりますが、更に延長されまして、3月7日月曜日までの休館とさせていただいておりますので、お知らせいたします。どうぞ、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

■山内教育長

その他、委員の皆様へ報告する事項がございましたらお願いします。

(「なし。」と声あり)

それでは、ただ今の、その他の報告事項に対して、委員の皆様から、ご質問等がございますか。

■黒沢委員

2ページのPCR検査キットについて、例え

ば念のため検査の場合、結果が出るまでは、外出を控えるとか、他の方との接触を控えるなど保健所からの指示があるかと思いますが、今回の不安解消等の目的で検査を受ける場合は、結果が出るまでの行動制限があるのでしょうか。

■教育総務課長

今考えておりますのは、検査をした場合は、個別で検体を検査センターに送っていただき、検査結果が出るまでは、2日から3日位かかると聞いています。その間、当然発熱等があれば待機していただく形をとりますし、検査の後、結果が出るまでは、自粛していただくように、今は考えております。

以上でございます。

■山内教育長

その他、ご質問等ございませんか。

(「なし。」と声あり)

ないようですので、その他については、終わります。

最後に委員の皆様から委員会の事業等について、確認やご意見・ご感想等をいつもの順番でお願いします。

■松森委員

昨日から、天気が大荒れで雪かきに追われていた2日間でしたが、中学校の玄関付近を男の子たちが先生と一緒に雪掻きをしていました。私は部活ごとや学年ごとに当番制でやっているのかなと思いましたが、生徒指導部のお便りで、「手伝います。」と言ってくれた有志ある子供たちがやってくれていると書いてあるのを見て、とても心が温かくなりました。今朝も地域の方がごみ収集箱の中のごみをいったん出し、その中の雪掻きをしている姿を拝見し、三沢市の人は大人も子供も素晴らしい人が多いと思い、また心が温かくなりました。

先日の給食では受験生応援メニューありが

とうございました。とても美味しかったと言っていました。受験に向かって頑張っている子供たちがほっとするひと時だったのではないのでしょうか。オリンピックの坂本花織選手が銅メダルを取った時に、皆の力で乗り越えられたという言葉聞いて私はすごく感動しました。坂本選手の結果も受験の結果も個人に与えられたものだと思っていましたが、教育委員会の皆さんが先陣を切って新型コロナウイルス感染症の対応をしてくださったり、給食センターの皆さんが食事のサポートをしてくださったり、受験は団体戦だと思いました。いつも子供たちを支えてくださって有難い気持ちでいっぱいになりました。これからもどうぞよろしくお願い致します。

以上です。

■本江委員

新型コロナウイルス感染の影響で、大変忙しい中、この様な企画をしてくださって、大変ありがとうございます。その成果が子供たちの色々なところに出てきているような気がします。大変な中も教育委員会の方々を中心となって、サポートしてくださっているわけですが、英検を例にとると、多分中学3年生で英検合格者がこんなにいる市町村は余りないと思います。このように、給食にしても皆が応援してくれているということ子供たちがわかっていて、皆が後押ししてくれているので、子供たち自身が力を付けられると思います。

朝のごみ捨ての事ですが、ランドセルを背負ってごみを運んでいる姿を見てびっくりしました。そして、きちんと捨てている姿を見ると、逆に子供たちから大人が教わっているような感じがして、お互いに調和がとれていて、私も心が豊かになりました。

以上です。

■黒沢委員

本日は、教育振興基本計画の進捗状況を丁寧にご説明いただきました。この「MISAWAの今と未来をつくる人づくり」というテーマについて、最初、今と未来というのはとても大切だとお話したことを覚えています。子供たちは今が楽しくなければ、未来に希望が持てませんし、未来が明るくなるためには大人の役割が必要になります。そのバランスの取れた教育体制が培われて、この基本計画の中に組み込まれていると思いました。幼児教育も、とても目まぐるしく変化しております、今の市の教育振興基本計画は、幼稚園が対象になっていますが、今後は子ども家庭庁の設立や、かけ橋プロジェクトの進行によっては幼児教育の括りになり、幼稚園だけでなく、保育所や認定こども園もその役割を担っていくこととなります。計画は令和6年度までになっていますが、状況に応じて、また国の方針に応じて、内容を変更するなど対応していただけたらと思います。

また、この新型コロナウイルス感染症もこの様な状況になるなんて思っていませんでした。でも、コロナ禍であっても充実した事業であり、今年度もまた、期待が膨らんだ報告をいただいたと思っております。ありがとうございます。

以上です。

■立花委員

昨日は、非常に大荒れの天気、学校は、どうするのかと、外を見ながら考えていました。ちなみに臨時休校は、学校の判断で行うのか、それとも教育委員会の伺いを立ててから、休校にするのか。確認したいと思います。

■教育総務課長

昨日のような、防風雪警報の場合は、基本的には、状況を見て、学校判断になります。教育委員会が指示を出す場合は、はよっぼどのことではなければありません。今回の場合は学校の判断によるものでございます。

以上です。

■立花委員

確かに、北の方はスクールバスなので、多少は安心ですが、事故が起きれば非常に心配です。教育委員会でも、安全第1に考え、指導をよろしくをお願いします。

以上です。

○閉会

■山内教育長

それでは、ここで暫時休憩をして、非公開審議のため、別室へ移動をお願いします。

3月定例会の日程ですが、3月24日木曜日、午後2時に開催したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、3月定例会は、3月24日木曜日、午後2時からといたしますので、よろしくお願いいたします。

休 憩 15時10分

再 開 15時15分

教育長室において、議案第26号 令和4年度教職員人事についてを審議し、原案のとおり承認された。

閉 会 15時31分

■会議録署名者

教育委員 立 花 肇

教育委員 黒 沢 まゆみ

書 記 今 村 多美代